



2022年度協約改訂を全組合員で闘おうシリーズ④

各種手当や昇格制度に満足していますか？ これが一流企業といえる待遇ですか？

全社員の皆さん、会社の各種手当や昇格制度に満足していますか？

今年度の第1四半期は、ようやく赤字からの脱却が見え始めたような三期ぶりの黒字決算となりました。しかし、多くの社員はこの決算発表で生活が楽になると感じている人は少ないのではありませんか？

それは「経費節減」の名の下にあらゆる予算が削られた結果としての黒字化であり、現場では「リニアさえなければもっと楽なのに」との声が聞こえるからです。コロナウイルス感染症による旅客数激減の影響により、昨年度までの二期連続の赤字でした。この黒字は何が何でもリニア中央新幹線を建設するためのものであり、会社は社員には今まで以上に馬車馬の如く働くことを求めています。

現行の各種手当や昇格制度は、働き度に見合った額ではありませんし、一部の社員だけが得をするという制度ではないでしょうか。JR東海労はC等級への昇格を保証するための要求や、経過年数に伴う昇給額の減額の撤廃、労働に見合った手当増額の要求、祝日手当の復活などを要求しました。

以下は要求の一例です。

- ★ C2等級以下にB年限を設けること。また、50歳に達した社員で昇格試験を受験した者は、全員C1等級以上に昇格させること。
- ★ 定期昇給については、現等級経過年数による基準昇給額の減額を撤廃すること。また、基準昇給額を一律1,500円とし、全組合員に対し乗数4の定期昇給を行うこと。
- ★ 祝日手当（E単価）を復活させ、1時間あたり50/100とすること。